

Aruba導入経験豊富な日立ソリューションズ

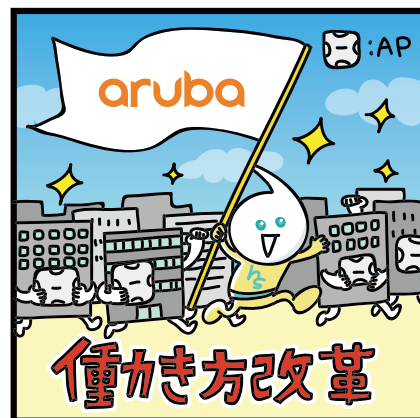


日立ソリューションズは、2008年から10年近くにわたりArubaシリーズの販売・導入を手掛けています。

AP300台、接続クライアント端末数6,000台といった大規模案件など数多くの導入実績があります。導入前のご相談から、最適なシステム構成のご提案、導入、保守サポートなど、エンドユーザーは勿論、パートナーに対してもトータルでAruba無線LANネットワークの導入を支援します。

既存有線LANの見直し、フリーアドレス化など、オフィスネットワークの新たなニーズに応えるAruba。

また、日立ソリューションズの情報漏洩防止ソリューション 秘文 Device Controlと合わせて利用することで、会社が認めたAP以外への接続を禁止することができます(秘文 Device ControlのWi-Fi制御機能)。個人が勝手に持ち込んだAPや、スマートフォンのテザリング機能を使ってインターネットに接続してしまうことを防ぎ、よりセキュアな無線LAN環境の構築が可能です。



企業内無線LANについては
ぜひお気軽に日立ソリューションズにご相談ください。

セキュアで快適な無線LAN環境を実現!

Arubaシリーズは、独自のアーキテクチャや多彩な機能で、高品質、高信頼の無線ネットワークを実現。多様化するビジネスシーンを支援します。

次世代無線LANが
オフィスを変える
ビジネスを変える

セキュア無線 LAN システム

Aruba シリーズ

詳しくは製品情報サイトへ Arubaシリーズ 検索

http://www.hitachi-solutions.co.jp/aruba/sp/



※Aruba, ClientMatchは、Aruba Networksの米国およびその他の国における商標または登録商標です。※ソリューションズは、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。
※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。
※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。
※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取ください。
なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。
※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

株式会社日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/column/kaikeisu/vol21/

S17K-11-01 2017.09

ITのお悩みをソリュッと解決!
特命課ソリュートくんがいく!

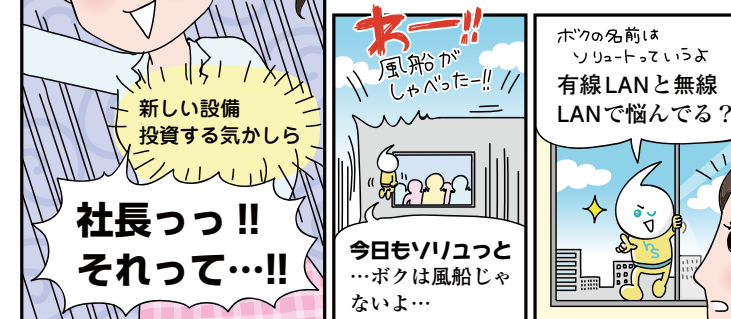
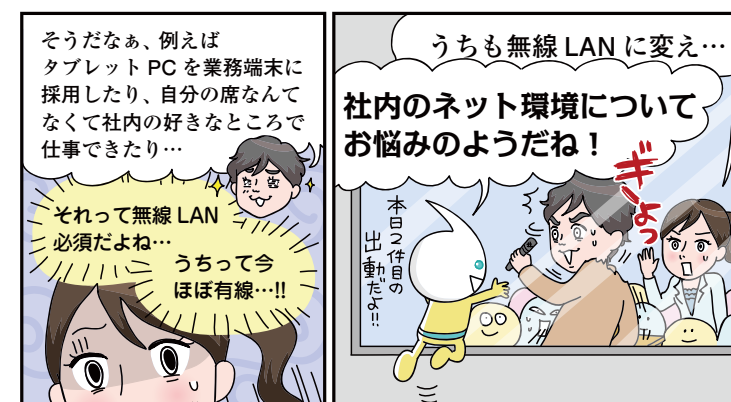
社内の固定席とおさらば!
無線LAN Arubaを使って働き方改革を!!

プロローグ

都内某所にある日立ソリューションズのビルの一室に古くから存在しているが誰にも知られていない特命課が存在する。ソリュートくんのアンテナにキャッチされるさまざまなITのお悩みを特命課社員、甲斐結子とソリュートくんの二人で日々解決していく!

かい ゆいこ
甲斐 結子

3年前なぜか特命課に配属されソリュートくんにより振り回されていた日々だったが人々の課題を解決していくうちに仕事にやりがいを見出していくオペレーター。生真面目な性格のため、ソリュートくんの言動や行動には少し頭を悩ませている。



登場人物

やばめ あぶない
矢羽目さん 阿武内さん

28歳で起業し、ヒルズ族に憧れを抱くIT系な矢羽目社長。阿武内さんは好奇心旺盛で大手企業の情報システム部にいたが刺激のない毎日を理由に転職して入社。ビジョン優先で無計画な社長に振り回されることに。



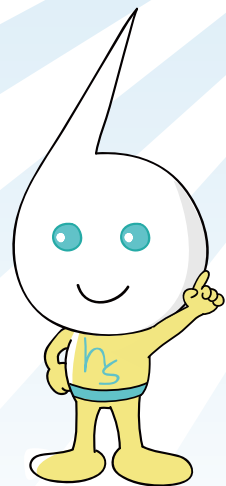
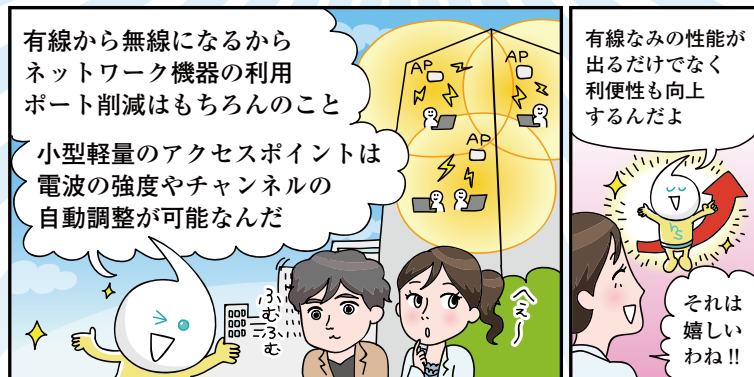
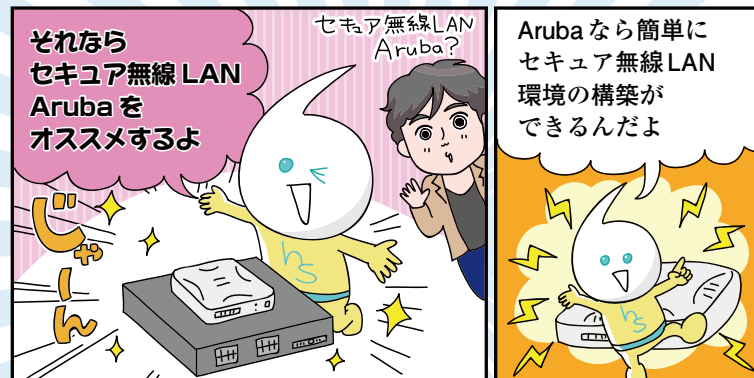
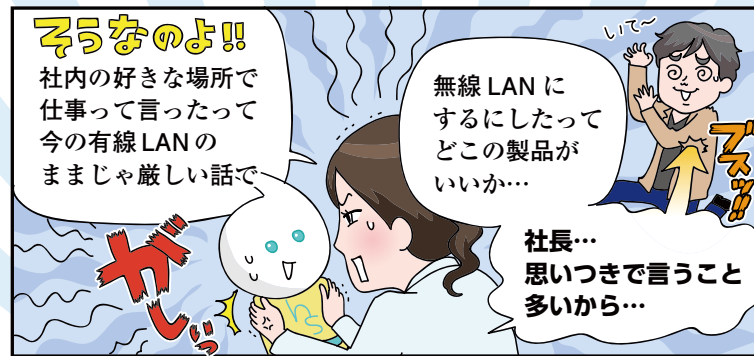
ソリュートくん

身長はアポストロフィ1.5個分だが通常時は40cm程度。アンテナを頼りに日々課題解決に燃えている。課題を持った人を見つけると興奮して早口になってしまうことがタマに傷。

結子の事をからかうのが日々の楽しみ。



株式会社日立ソリューションズ



ソリュっつと解決!

働き方改革の一つの形として、自席にとられないフリーアドレス型オフィスや、ノートPC、タブレットを用いたペーパーレスの会議など、多様なワークスタイルを導入しようという動きがあります。また、事業環境の変化に対応するために組織変更なども頻繁に行われるようになり、社内のネットワーク環境もより柔軟性が求められています。

このような課題を解決する技術の一つとして、社内LANを無線LAN (Wi-Fi) 化することは非常に有効ですが、クライアント数の多い企業ネットワークにおいて、無線LANの導入は、電波の干渉や、セキュリティ、そして速度など、有線LANと比較するといくつかの障壁があります。

日立ソリューションズが提供するセキュア無線LANシステムArubaは、このような企業内無線LAN構築に適した機能、性能を持ち、企業の働き方改革を、ネットワークインフラからサポートします。

企業内無線LANの課題1 導入時、事前にいろいろ調査しないとイケないのが大変

近年では、モバイルデバイスの普及などにより、無線LANネットワークの導入は目覚ましく進み、街中では多くの公衆もしくは企業内、家庭内の無線LAN機器やモバイルルーターなどの電波が飛び交っています。無線LANネットワークはその特性上、電波干渉によって速度が遅くなったり、つながらなくなる可能性があります。

アクセスポイント (以下: AP) の設置場所によっては、フロアの中でも電波の入りにくいところがあることがあります。また、APに接続するPCなどのクライアント端末の台数にバラツキがあると、各APへの負荷の差による通信速度低下を招くこともあります。したがって、安定した無線LAN環境を導入するためには入念な事前の調査、対策が必要でした。

Arubaは、電波の強さや利用チャンネルを自動で調整する機能である、「ARM機能 (Adaptive Radio Management)」を搭載しているため、導入時の事前調査の手間を大幅に軽減でき、容易に導入が可能です。



企業内無線LANの課題2 PCの場所を移動すると無線LANが遅くなって使いにくい

無線LAN接続のクライアント端末を持って移動すると、別のAPがそばにあるはずなのに通信速度が極端に遅くなるという経験をしたことがある方は少なくないでしょう。

この現象は、無線LAN端末の特性が原因になっています。

端末は最初に接続したAPへの接続を続けようとするため、移動によって電波が弱くなっても、最初に接続したAPに「貼り付いた」ままになってしまいます。これはSticky (貼り付き) 端末と呼ばれ、以前から問題とされていました。

Arubaはこの問題に対し、常にどのAPが接続先として最適かを判断し、クライアント端末を誘導する特許技術によるClientMatch機能を搭載。

このClientMatch機能により、Arubaの無線LANネットワーク全体でパフォーマンス低下を防ぎ、安定した通信を実現しています。



企業内無線LANの課題3 多数のAPの管理が大変

企業内ネットワークでは、大量のAPを管理する必要があります。

オフィスの広さにもよりますが、1フロアだけでも十台を超える規模になることはよくあることです。これが複数フロアになると、数百台規模のAPを管理することも珍しくありません。

これまでのAPでは、設置時に個々の設定が必要であったり、障害時の故障APの特定や、そのカバーも容易ではありませんでした。

ArubaのAPIはコントローラを使って複数のAPに対する同時設定変更や、AP稼働状況の確認が可能です。最上位モデルのコントローラでは最大2,048台のAP、32,768ユーザーを管理することができるので、コントローラ1台で全社APの一元管理を行うこともできます。

また、APの台数が少ない場合は、AP自身の持つコントローラ機能により複数APの一元管理も可能ですので、部門単位から導入し、全社展開を行うスモールスタートも容易に可能となります。

もしAPが故障した場合は、ARM機能により周囲のAPが出力を上げて、故障したAPのエリアを自動でカバーすることで、故障による影響を最小限におさえ、利便性を損ないません。また、Arubaの各機器はネットワーク機器管理のプロトコルSNMP (Simple Network Management Protocol) に対応しているので、故障時の検知も容易になっています。

このようにArubaは大規模な無線LANネットワークでも、高速かつ、容易な導入・運用管理が可能です。

